



コールスロットリングの設定

- [コールスロットリングの概要 \(1 ページ\)](#)
- [コールスロットリング設定タスクフロー \(2 ページ\)](#)

コールスロットリングの概要

コールスロットルを使用すると、システムは自動的に新しいコールを調整または拒否することができます。この操作は、条件によって、ユーザが電源オフフックの間に遅延を発生させ、ダイヤルトーンを受信する場合に発生します。

この遅延によって発生する可能性のある要因は次のとおりです。

- 重いコールアクティビティ
- CPU 使用率が低い
- ルーティンググループ
- ディスク I/O の制限
- ディスクフラグメンテーション

システムは、コールスロットリングパラメータで指定されている値を使用して、ダイヤルトーンの遅延の可能性を評価し、コールスロットリングが必要でなくなった状態を判断します。

ダイヤルトーンの過剰な遅延を回避するためにスロットリングが必要になったときに、システムは Code Yellow 状態に入り、新しいコールの試行がスロットル（拒否）されます。

ダイヤルトーンの遅延が、コールスロットリング関連のサービスパラメータで設定されているしきい値を超えるとシステムにより計算された場合、Unified Communications Manager は新しいコールを拒否します。コールスロットリングが有効であるとき、新しいコールを試行するユーザはリオーダー音を受信します。電話機モデルによっては、電話機のディスプレイにプロンプトが表示される場合もあります。

コールスロットルを使用すると、ユーザがシステム管理者または電話機が故障しているかどうかについて不満を示す非常に長い遅延が回避されます。システムはそのような遅延が発生するタイミングを予測するため、複雑なアルゴリズムを使用して常時システムを監視します。

ダイヤルトーンへの遅延がコールスロットリングサービスパラメータのガイドラインの範囲内である場合は、Unified Communications Manager は Code Yellow 状態を終了してスロットリングを中止し、新しいコールは再び許可されるようになります。

コールスロットリング設定タスクフロー

手順

	コマンドまたはアクション	目的
Step 1	コールスロットリングの設定 (2 ページ)	コールスロットリングは、システムが過負荷なコールアクティビティ、低いCPUの可用性、ディスクフラグメンテーションなどの状況を検出すると自動的に有効になります。
Step 2	メモリスロットリングの設定 (3 ページ)	システムのメモリスロットリングを設定します。

コールスロットリングの設定

コールスロットリングは、システムが過負荷なコールアクティビティ、低いCPUの可用性、ディスクフラグメンテーションなどの状況を検出すると自動的に発生します。これらの状況が修正されると、システムはスロットリングを自動的に終了します。コールスロットリングは、拡張サービスパラメータを使用して設定します。ほとんどの導入環境では、デフォルト設定で十分です。



注意 コールスロットリングパラメータは、カスタマーサポートに指示された場合を除き、変更しないことを推奨します。

手順

- Step 1** Cisco Unified CM Administration から、[システム (System)] > [サービスパラメータ (Service Parameters)] を選択します。
- Step 2** [サーバ (Server)] ドロップダウンリストからサーバを選択します。
- Step 3** [サービス (Service)] ドロップダウンリストから、[Cisco CallManager] を選択します。
- Step 4** [詳細設定 (Advanced)] をクリックします。
- Step 5** [コールスロットリング (Call Throttling)] で、コールスロットリングのサービスパラメータの値を設定します。パラメータに関するヘルプの説明を参照するには、GUI でパラメータ名をクリックします。
 - [コードイエローエントリ遅延 (Code Yellow Entry Latency)]

- [コードイエロー終了遅延カレンダー (Code Yellow Exit Latency Calendar)]
- [コードイエロー継続時間 (Code Yellow Duration)]
- [最大許容イベント数 (Max Events Allowed)]
- [システムスロットルのサンプルサイズ (System Throttle Sample Size)]

Step 6 [保存 (Save)] をクリックします。

メモリスロットリングの設定

システムのメモリスロットリングを設定するには、この手順を使用します。

手順

- Step 1** Cisco Unified CM Administration から、[システム (System)] > [サービスパラメータ (Service Parameters)] を選択します。
- Step 2** [サーバ (Server)] ドロップダウンリストから、Unified Communications Manager サーバを選択します。
- Step 3** [サービス (Service)] ドロップダウンリストから、[Cisco CallManager] を選択します。
- Step 4** [詳細設定 (Advanced)] をクリックします。
- Step 5** [メモリスロットリングの有効化 (Enable Memory Throttling)] パラメータを True に設定します。
- Step 6** [メモリスロットル (Memory Throttling)] 領域で、追加のサービスパラメータの値を設定します。パラメータのヘルプを参照するには、GUI でパラメータ名をクリックします。
- Step 7** [保存 (Save)] をクリックします。
-

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。